

各関係機関の長 殿
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和4年度病害虫防除情報第2号

ツマジロクサヨトウについて、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

ツマジロクサヨトウのフェロモントラップへの初誘殺が確認されました。今後の発生に注意して適切な防除を行ってください。

- 1 作物名 飼料用トウモロコシ、ソルガム、スイートコーン
- 2 病害虫名 ツマジロクサヨトウ
- 3 発生状況(経過)

県内6ヶ所に設置しているフェロモントラップ調査において、5月9日に初誘殺が確認された(表1)。

表1 県内フェロモントラップにおける誘殺頭数(5月16日現在)

設置地点	3月	4月	5月
宮崎市 佐土原町	0	0	0
宮崎市 田野町	0	0	0
都城市 母智丘	0	0	1
三股町 蓼池	0	0	0
西都市 茶臼原	0	0	1
新富町 新田	0	0	1

表2 県内トラップ初誘殺確認日

年	初誘殺確認日	地点
令和2年	5月14日	都城市母智丘
令和3年	5月19日	新富町新田
令和4年	5月9日	西都市茶臼原

注) 粘着板トラップによる誘殺



図1 ツマジロクサヨトウ幼虫
(令和2年5月15日撮影)

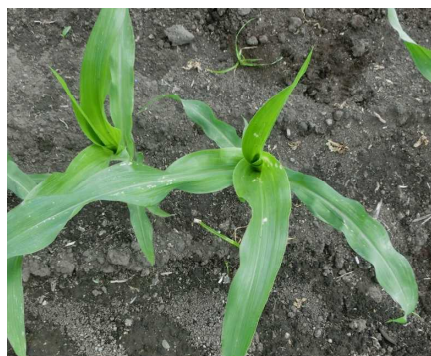


図2 飼料用トウモロコシでの食害(全体、拡大)
(令和2年5月15日撮影)

4 防除上の注意

- (1) 生育初期に多発すると減収につながると考えられるので、生育初期からほ場をよく見回り、幼虫と食害の早期発見に努め、発生を確認した場合は、農薬による防除を実施する。
- (2) 発生は8月下旬以降急激に増加し（図3）、特に飼料用トウモロコシの2作目で食害が顕著に見られるため、今後の発生に注意する。
- (3) 農薬の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向、防除器具のノズルの向き等にも十分注意し、農薬の飛散（ドリフト）に留意する。

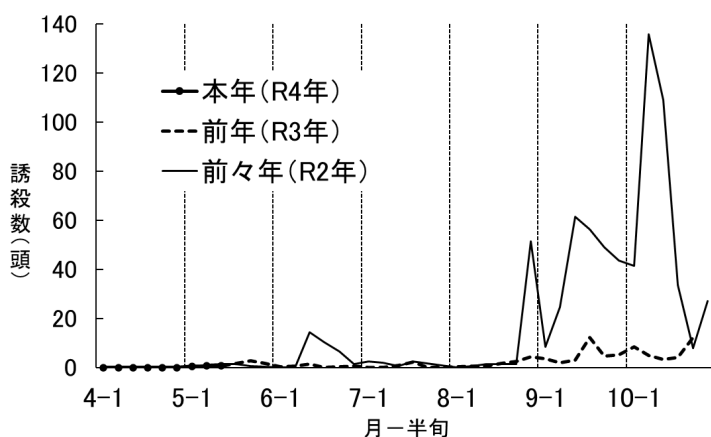


図3 県内のツマジロクサヨトウの発生活消長（粘着板トラップ調査）

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課
(病害虫防除・肥料検査センター) 椎葉

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp